

哲 學 研 究

第六卷 第一册
第五十八號



大 正 十 一 年 一 月 一 日 發 行

意識の程度に就いて……………文學士 千葉胤成	教育の基礎觀念としての自我……………	……………文學博士 吉田熊次	古神道に於ける道德意識とその發達：村岡典嗣	前行の視野闘争の後行の視野闘争に及ぼす影響……………	……………文學士 黒田源次	彙報……………
------------------------	--------------------	----------------	-----------------------	----------------------------	---------------	---------

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分ケテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
實方治	寶嚴

書記

謹啓

別紙京都哲學會々告の通り本誌の發行所を大正十年二月以後變更せらるゝ事に相成候に付ては事務整理の都合上本誌の發送及前金の拂込に關し左記の通り協定仕候間御承知下され度奉願候

一、本誌の發送は來一月發行の分までは從前の通り現發行所寶文館、二月發行の分よりは新發行所内外出版株式會社にて取扱可申候。

一、前金拂込濟の各位中（京都哲學會員以外）前金切に相成候節は總べて新發行所内外出版株式會社へ拂込下され度候但し大正十年一月發行以後の分に對し既に御拂込濟の分に對しては前金切に至る迄前項に依り本誌を發送仕るべく候

一、二月發行分以後に對する新規の御注文は總べて新發行所内外出版株式會社へ御申込下され度候。

追て從來現發行所寶文館に對し多大の御引立を蒙り候段難有御禮申上候尙新發行所たる内外出版株式會社に對しては一層の御同情御引立を賜はり候様願上度此機會を利用して茲に謹て御禮旁御願申上候 敬 具

現發行所

東京市日本橋區本石町二丁目

東京寶文館

新發行所

京都市下京區新町七條上
東京市京橋區加賀町十番地

内外出版株式會社

振替口座大阪參貳九五五番

本誌は從來編輯事務を京都に於て執り發行を東京寶文館に委任致し居候爲め校正其他編輯上多大の不便を感じ居候處幸ひ近來京都に於ても我邦文化の一重要中心として出版印刷の業も漸次勃興の氣運に向ひ候に就ては今回大正十年二月號より發行所を京都内外出版株式會社に変更致すことに決定仕候間右御了承有之度此段會員諸君に謹告候也

尙本誌が創刊當初諸事不整頓の狀態よりして現状の如き發展をなし得たるは最初より利害を離れて盡力致吳候寶文館の熱心と厚誼とに負ふ所尠らず候本會は此機會に於て同館に對し深厚なる謝意を表し候

大正十年一月

京 都 哲 學 會

彙報

哲學會例會

十二月二日午後六時より學生集會場にて開會左の講演を行へり
 形式論理學に關する 二三の感想 文學士 安部晴之助
 西田朝永田邊博士其他會員參集

石原純博士の課外講義

文學部哲學科にては東北大學教授石原純博士を聘して十二月八日より二十二日迄毎夜七時より九時迄相對性原理に關する課外講義を行へり。

教育學會例會

十一月二十日午後六時半より學生集會所にて開會し奈良女高師教授松澤泰巖氏を聘し最近歐米教育視察談を聴く。氏は主として國語問題、教育制度問題を中心として二時間半に亘り講演せられたり。

社會學會例會

本學年第二回例會、十月二十一日開催左記講演あり。
 露西亞に於けるサン・シモン主義に就て 金杉 桓彌君
 同第二回例會、十一月十八日開催

藝術家と社會階級

左原 六郎君

同第三回例會、十二月十六日開催

利益分配に對する輿論の反對

山崎英次郎君

印度宗教學會例會

十二月十四日午後六時より第六教室にて左の講演を行へり

米國の自由主義。

二十二學士

寄贈書籍雜誌

禪の心理的研究

入谷 智 定著

東京心理學研究會

和辻 哲 郎著

東京岩波書店

日本古代文化

哲學雜誌、丁會倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、

六條學報、文化運動、學校教育、教育、教育學術界、内外教育評

論、教育界、教育研究、教育時論、日華公論、

前 號 目 次

カントとシュライエルマッヘル	文學士	勝部 謙造
基督教修道院の宗教思想	文學士	日野 眞澄
原始僧團に於ける比丘の極重罪(完結)	文學士	手島 文倉
プラトンの美學(承前)	文學博士	深田 康算
新著紹介		

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下
 度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ
 御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ
 凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會
 文學部内 振替口座大阪參〇六六參番

定 價

冊	數	定	價	郵	稅
一	冊	金	四	拾	錢
六	冊(前金)	金	貳	圓	四
十	二冊(前金)	金	四	圓	八
		拾	錢	不	申
		受			

廣告料 一頁 金貳拾圓 半頁は取扱不申

註 文 規 定

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶
 文館へ御申込下され度候
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さる
 べく候
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに
 付直に御拂込下され度候
 ◎見本御入用の場合は金四拾錢御送り下され度候
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下
 され度候

大正九年十二月二十七日印刷納本
 大正十年一月一日發行

第五十八號 第六卷 第一冊

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内
 右代表者 寶嚴方治
 發行者 大葉久吉
 印刷者 青柳十一郎
 印刷所 秀英舎第一工場

發行所 東京日本橋區本石町三丁目
 (振替口座東京二八〇番) 寶文館

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目
 大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 上田屋 (大阪) 盛文館 (京都)
 寶文館 (神戸) 寶文館

東京高等師範學校教授

萩原

擴著

(最新刊)

倫理學概論

布裝全一冊

定價金四圓五拾錢

送料金拾八錢

倫理學は堅苦しいもの、讀んで趣味の無いものとは、誰も思ふであらうが、これは未だ本書を讀まぬ人の言で、一度本書を手にしたなら、終まで讀了せねば止められない程趣味が津々と湧いて來る。著者は東京高等師範學校の教授で、我國では吉田博士と共に斯學の權威として令名噴々たる人である。本書は著者が學校で講義せられた草稿に一念に手を入れられたもので、倫理學の一般を謹嚴苟もせざる而も流麗暢達平易明晰な文章で嚙んでくゝめる如く説明されたもので、東西古今の學說を引用して一々批判を加へ一讀斯學の要領を會得する様にと努力された一面には、大戰以後泰西雜多の新思想が輸入されて我國人心の動搖不安を來し、人々歸嚮する所に迷へるといふ現代の世相を概して、書中是等の新說を引き、一々眞面目に批評を加へて讀者をして道德の根柢標準といふ點に就て不拔の見識を確立させようと圖られたので、師範學校倫理科學生や文檢受験者の參考書として好適な計りでなく、一般讀書子殊に有識階級の諸君子にして現代の混沌たる思潮に對して嚮ふ所に迷へる者に取つて絶好の讀物として推獎するに憚らない。

哲學研究 第五十八號

第六卷 第一冊

大正五年四月六日發行(一月一回) (第三編郵便物認可)

定價金四拾錢

東京 日本橋區本石町 寶文館 大坂 市東區淡路町 大坂 區四番路 大坂 區三番路